
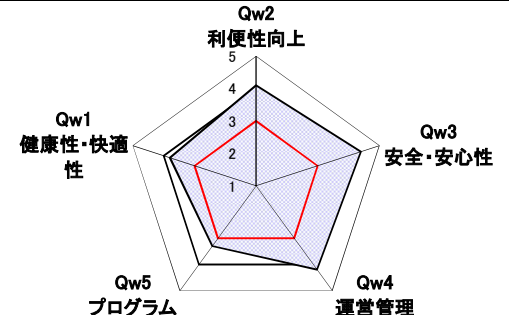
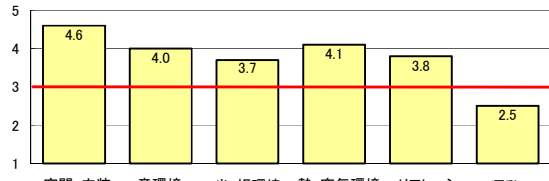
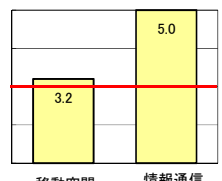
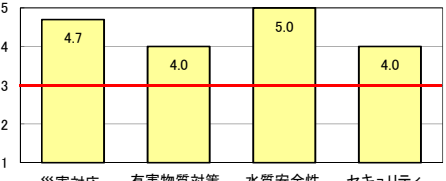


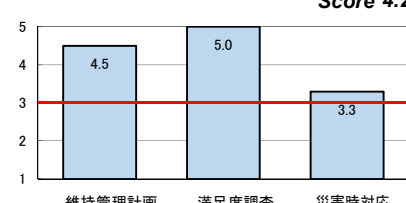
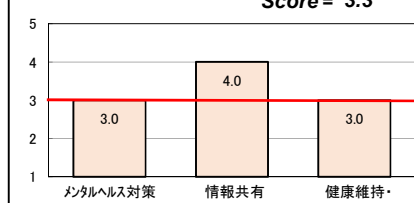
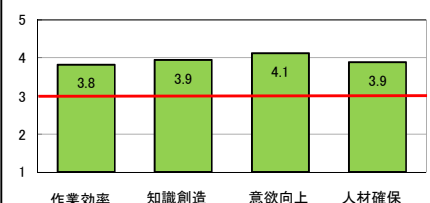
CASBEE®-ウェルネスオフィス | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-ウェルネスオフィス2021年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-WO_2021(v1.1)

1-1 建物概要				1-2 評価パターン	
建物名称	POLA青山ビルディング	階数	地上16F、地下2F	評価対象	パターン1
建設地	東京都港区	構造	S造	1-3 外観	
用途地域	商業地域、第2種住居地域、防火地域	平均居住人員	900 人		
地域区分	6地域	年間使用時間	2,080 時間/年(想定値)		
建物用途	事務所、集会場、展示場、保育所、自動車車庫	評価の段階	設計段階(実施設計・施工)評価		
竣工年	2024年2月 予定	評価の実施日	2023年8月31日		
敷地面積	2,466 m ²	作成者	株式会社イズミシステム設計		
建築面積	1,088 m ²	確認日	2023年8月31日		
延床面積	17,041 m ²	確認者	株式会社 久米設計		

2-1 総合評価	2-2 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>Rank: S 75.5 /100</p>  <p>S ランク:★★★★★ > 75 A ランク:★★★★ >= 65 B+ランク:★★★★ >= 50 B-ランク:★★★ >= 40 C ランク:★★ < 40</p>	

2-3 中項目の評価(バーチャート)		
基本性能		
<p>Qw1 健康性・快適性</p> <p>Score: 3.8</p> 	<p>Qw2 利便性向上</p> <p>Score= 4.1</p> 	<p>Qw3 安全・安心性</p> <p>Score= 4.4</p> 

運用管理	プログラム	参考: 知的生産性の視点に基づいた評価
<p>Qw4 運営管理</p> <p>Score 4.2</p> 	<p>Qw5 プログラム</p> <p>Score = 3.3</p> 	

3 設計上の配慮事項		
総合		
<p>・東京都港区に建設される複合用途ビルである。</p> <p>・将来のオフィスワークを見据えた高性能ワークプレイスとポーラ文化研究所、アートワーク、多目的ホールなどが複合されることによって、国際社会にも対応した青山の創造的な活動の中心となる近未来型オフィスの構築を目指す。</p>		
<p>Qw1 健康性・快適性</p> <p>・ゆとりある天井高を確保し、開放的な執務スペースを計画している。</p>	<p>Qw2 利便性向上</p> <p>・OAフロアの設置、OA機器用のコンセント容量50VA/m²以上を確保し、利便性の高いオフィスを計画している。</p>	<p>Qw3 安全・安心性</p> <p>・非常用発電機の採用等、災害時の電源確保に配慮している。</p>
<p>Qw4 運営管理</p> <p>・維持管理に配慮した計画としている。</p> <p>・維持保全計画、中長期保全計画などによる建物維持管理運用面における策定を行う。</p>	<p>Qw5 プログラム</p> <p>・社内情報共有インフラに配慮した整備を行っている。</p> <p>・共用部の消毒などの感染対策を行い、健康維持に配慮している。</p>	<p>その他</p> <p>-</p>